

報道発表

報道関係各位

2026年4月16日

【 病院×生成 AI 】

入院案内に音声対話型「AI 入院案内（静岡済生会病院 コンシェルジュ）」を導入。

スマホに話しかけるだけで入院手続き・持ち物・院内案内を AI がサポート。患者サービス向上を目指す。

静岡済生会総合病院（以下、当院）（静岡県静岡市駿河区小鹿1丁目1番1号）は、2026年4月20日（月）より、入院患者およびその家族への案内をサポートする新しい取り組みとして、生成 AI 技術を活用した「AI入院案内 静岡済生会病院コンシェルジュ」の実証実験を開始します。

本取り組みは、患者サービスの向上と医療現場の業務効率化を両立する新しい医療 DX の試みです。将来的には、院内案内や外来患者向けサポートなどへの応用も期待されています。

なお本実証実験は、生成 AI の社会実装を手掛ける AX（生成 AI）実装コンサルタント・大石光宏氏の技術提供により実現しました。

■実証実験期間：

2026年4月20日（月）～9月30日（水）

■導入の背景と目的：

医療現場の課題「入院案内のわかりにくさと業務改善」

病院への入院は、多くの患者さんや家族にとって初めての経験であり、何を携えていけばよいのか、入院手続きはどこへ行くか、面会はできるのか、院内設備はどこにあるのかなど、多くの疑問が生まれます。一方で医療スタッフは診療や看護業務に追われており、こうした案内業務に十分な時間を割くことが難しいのが現状です。そこで、患者や家族がいつでも気軽に質問できる「AI 入院案内」を導入することで、医療現場の負担軽減と患者サービスの向上を目指します。



■本サービスの特徴：テキスト入力不要の「音声対話」

従来のチャットボット（文字入力型）に加え、本サービスは音声対話「音声で話しかけ、音声で返ってくる」ことを可能にしました。スマートフォンから AI に音声で質問すると、入院手続きや持ち物、院内設備などについて 24 時間いつでも回答する対話型 AI サービスです。80 か国の言語に対応しているのも特徴の一つです。

■AI 入院案内について * 詳細は添付チラシ参照

- ・患者や家族がスマートフォンから質問すると、入院手続きの流れ、必要な持ち物、面会ルール、院内設備の案内などを AI がわかりやすく説明します。
- ・当院専用 AI として設計しており、一般的な AI ではなく、当院の入院案内情報をもとに構築された専用 AI のため、院内ルールや設備について回答が可能です。
- ・入院の不安や疑問をその場で解消でき、患者や家族の安心感向上につながります。患者や家族から「職員が忙しそうで話しかけるのに戸惑う」との声も寄せられていました。また AI の親しみやすい対話は単なる検索ではなく、コンシェルジュと会話しているような自然なレスポンスを実現しています。

■開発者・大石光宏氏について

経営コンサルタント、AX(生成 AI)実装コンサルタント

【大石光宏氏 コメント】

「病院という場所では、患者やご家族が多く不安や疑問を抱えています。そうした疑問にいつでも答えられる“デジタル案内役”として開発しました。医療スタッフの負担を軽減しながら、患者体験を向上させる新しい医療 DX のモデルとして、今後さらに発展させていきたいと考えています。」

本システムを構築した大石光宏氏は、生成 AI の黎明期よりビジネス実装の現場で活動するコンサルタントです。「AI をただ導入する」のではなく、「現場のオペレーション課題を解決し、利益や顧客満足度を生み出す」ための設計・実装に定評があります。今回の静岡済生会総合病院での導入においても、応答内容の充実や、誤情報（ハルシネーション）の抑制など、実用面にこだわったチューニングが施されています。

【AI 対話型音声案内の導入実績】

・浜松城公園 ・掛川城公園 ・(焼津)小泉八雲記念館 ・(藤枝)田中城 ・(興津)清見寺 ほか

(メディア関係者様・導入検討中の企業様へ)

AI ソリューション導入に関するご相談は、下記までお問い合わせください。

大石光宏 msinnovationconsulting@gmail.com

取材についての問合せ先： 静岡済生会総合病院 企画・広報課

電話： 054-285-6171 (代表) 054-280-5072 (直通) FAX： 054-285-5179

E-mail： 企画・広報課 kikaku@siz.saiseikai.or.jp